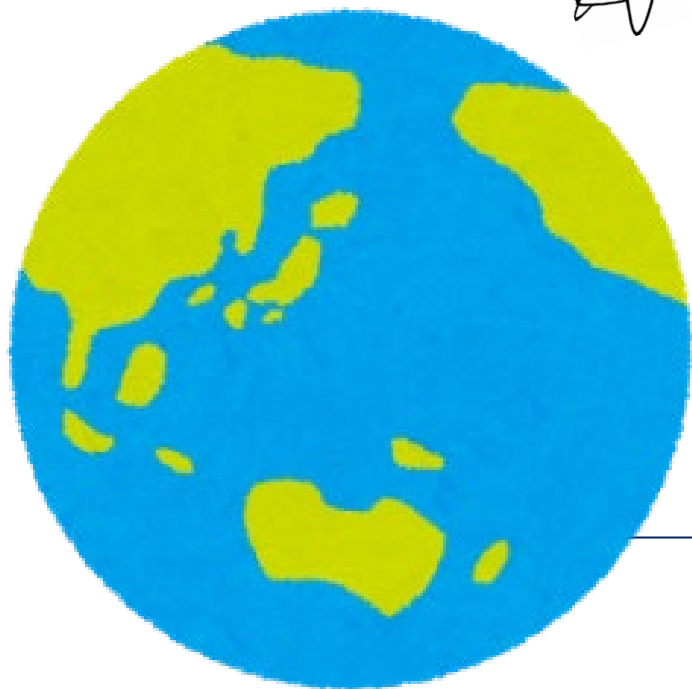




22ATOP 出願・エッセイ準備



5月11日 (土)

- ①エッセイがイメージできてる
-エッセイ戦略基礎編

- ②高3の一年間のスケジュールを自分事に落とし込む

- ③自分の入試スケジュールを考慮しながら、出願月を決める



①エッセイがイメージできているワーク

大学受験は、皆さんの人生における
“子どもステージ”の終着地であり、
“大人ステージ”の出発地です。

次のステージに進む前に、いままで何をしてきたか、その上でどのように次のステージ
“キャリア”
を描くのかを考える。

これは、海外・日本いずれの大学に進学する場合であっても、必ず意識しましょう。

コロンビア大学の経営学者・心理学者・キャリア研究者の ドナルド・E・スーパー (Donald E. Super, 1910-1994)

D.E.スーパーは個人のキャリア (career) を、
『人々が生涯にわたって追求し、社会的に占めている地位・業務・職務の系列』であると定義して、キャリアを**一時期の職業活動だけに限定しない人生の生き方や人間関係、社会的役割にまで拡張**

スーパーは、キャリアディベロップメント (職業的発達) において最も重要な要素は「**自己概念**」であるとしました。

自己概念とは

「**自分は何者か?**」

「**自分はどのような存在であるか?**」

といった自己イメージのことです。

良い職業選択を行うには、**自分の興味・能力・価値観を理解する**ことが重要
それに適合する職業を見つけることが求められます。

- ・自分はどんな仕事をしたいのか
- ・自分はどんな仕事ができるのか
- ・自分は仕事において何を大事にしたいのか

そうした問いに対する自分なりの考えを「**職業的自己概念**」と呼び、そのためには**自己分析**が必要です。

